

「鉄人レース」今は昔?

水泳、自転車、ランニングの3競技の合計タイムを競うトライアスロン。「鉄人レース」と呼ばれるほどの過酷なイメージもある競技だが、最近は初心者でも気軽に参加できる大会が増えている。和気あいあいとしたスタートラインの雰囲気は「草食系、か」といふほど。距離が短かったり、リレー形式だったりと体への負担が小さく、手ごろな価格で用具・用品がそろるのが人気の秘密だ。仲間と一緒に参加すれば、ゴール後のお楽しみも待っている。

トライアスロン お気軽にトライ



ゴールは一緒
リレーでの参加者は3人で手をつないでゴールした

健闘たたえる

完走後、飲み物を片手に健闘をたたえ合う参加者ら

次いでいる。9月の「横浜シーサイドトライアスロン in 横浜・八景島シーパラダイス」には約800人が参加。7月、国営昭和記念公園（東京都立川市、昭島市）であった大会は前日に水泳200分・自転車5分・ラン1分という初心者向けの「トライディストライ」を開いた。気軽に参加できる大会が増えたことで用具・用品の販売も好調。都心に店舗展開するアトスポーツ（東京・台東）では水着を中心にトライアスロン用品の売上高が7～9月は

前年同期比15%伸びた。ランニング愛好者のトライアスロンへの挑戦が増えているという。スポーツ用自転車専門のワイズロード新宿店（東京・新宿）は7月、初心者向けに一式15万円の用具セットを発売。「関連部品の売り上げも増えた」といった波及効果もあり、今後も初心者コーナーを強化する考えだ。

競技団体である日本トライアスロン連合（JTU、東京・渋谷）の大塚真一郎専務理事は「今はトライアスロンの第4次ブーム」と話す。00

短距離・リレー参加しやすく

10月10日、羽田空港を望む城南島海浜公園（東京・大田）や大井埠頭（同・品川）で開かれた「東京・江戸前トライアスロン2010」。距離は五輪レースの半分の25.75キロ（水泳0.75キロ、自転車20キロ、ラン5キロ）と短く、午前9時15分のスタートから1時間ほどで選手たちがゴールし始めた。筋骨隆々とした選手に交じって、メガネ姿の優男や皇居周辺で見かけるようなおしゃれなウェアに身を包んだ女性たちも次々に笑顔でゴールする。

完走後すぐ、「カンパイ！」とノンアルコールビールを掲げたのは初心者でつくる「青山トライアスロン倶楽部」の面々。9月に入会した会社員の中村朝之さん（35）はこの日が初参加。09年の東京マラソンにも出場している中村さんは「マラソンより楽」と余裕の表情だ。

大会2週間前に入会した小野寺理恵さん（36）は競技を3人で分担する「リレー」のメンバーに加わり、ランニングを担当した。アウトドア派で登山好きという小野寺さんだが、ランニングは始めたばかり。「3人で手をつないでゴールする瞬間が楽しかった」と目を細めた。

「お互いに応援しあえるし、1人で出るより楽だから」というのはリレーに出場した女性チーム「8★BAY」。トライアスロン初挑戦の中山和恵さん（36）は「自転車を持っていないから」という理由でランニングの担当をした。

江戸前トライアスロンのほかにも首都圏では今年、初開催の大会が相



東京・江戸前トライアスロン2010では女性や初心者の参加も目立った

首都圏で今年初めて開かれた主な大会

名称	月日	場所	競技距離
第1回館山わかしおトライアスロン大会	7月11日	千葉県館山市	51.5キロ、25.75キロ
YOKOSUKA 西海岸トライアスロン in 長井	9月4日	神奈川県横須賀市	25.75キロ + ミニラン1.4キロ
横浜シーサイドトライアスロン in 横浜・八景島シーパラダイス	9月5日	横浜市	25.75キロ
東京・江戸前トライアスロン2010	10月10日	東京都大田区・品川区	25.75キロ
木更津トライアスロン大会ー赤い橋の伝説ー	10月24日	千葉県木更津市	51.5キロ

初心者向け用具も充実

年のシドニー五輪後、下火となっていたトライアスロンの人気に風向きの変化が生じたのは06年ごろ。英国など海外の大会が相次いで、一般市民に門戸を開き、参加者数を数千人規模に膨らませたのが始まりだ。

日本では07年の東京マラソン創設を機にランニングブームが一気に高まり、トライアスロンにも追い風となった。09年4月の沖縄県石垣島での大会には従来の2倍近い約2000人の参加者が殺到した。

ブームの再燃を予感したJTUが「仕掛けた」（大塚専務理事）のが初心者を受け入れる大会の新設だった。従来は年間250ほどだった国内の大会数を今年30近く増やし、うち約4分の1を首都圏で開催。それぞれの大会で距離を短くしたり、リレー形式を取り込んだりして、初心者が日帰りで気軽に参加できるように仕向けた。

さらにもう一つ、JTUが知恵を絞ったのが初心者向け用具の企画。トライアスロンを始める際、一番のネックは自転車を中心に数十万円はかかるという高価な用具だ。そこで専門卸のアレッセコーポレーション（横浜市）と組み、JTU公認と銘



トライアスロンの用具コーナーを訪れる初心者も増えている東京都新宿区のワイズロード新宿店

打った一式約10万円の「スターキット」を9月から、ディノスのインターネット通販で発売した。

トライアスロンの国内競技人口は約30万人。ただ、JTUが依頼した早稲田大学の調査では潜在的愛好者は150万人になるという。11年5月には国内最大級という2000人の一般参加を募る国際大会「2011トライアスロン世界選手権シリーズ横浜大会（仮称）」が横浜市で予定されている。今季のトライアスロン大会は間もなくオフシーズンとなるが、今回のブームは年をまたいでさらに盛り上がりそうだ。（武田敏英）

